

令和3年8月23日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練 移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- 1 土曜日・日曜日・祝日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。

また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日・祝日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。

- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

《回答》

①及び②については包括的に回答させていただきます。

千歳基地における訓練移転の実施に当たり、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練はもとより、訓練空域、飛行経路及び飛行方法などについても、航空自衛隊と同様の態様となります。

協定についても、平成19年1月に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認事項を踏まえ、訓練移転を実施してまいります。

また、米軍帰還の際の土日・祝日及び早朝・深夜の飛行につきましては、極力そのようなことが生じないように米側に対し要請してまいります。

- 3 米軍人の外出時等の対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。

《回答》

米軍人の本道滞在中における北海道防衛局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポートを行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対して、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申し入れを行ってまいります。

- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。

《回答》

訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様に実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えています。

5 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

《回答》

訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保していると承知しています。

当局としては、訓練移転の実施に際し、改めて航空機の更なる安全確保について、安全確保について、訓練部隊に求めてまいりたいと考えています。

6 説明会や米軍ブリーフィング等の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

《回答》

現下の新型コロナウイルスの状況に鑑み、例年実施してきた飛行隊長へのインタビューや戦闘機見学は計画しておりませんが、当局としては、地元の皆様への情報提供については、大変重要と認識していることから、必要な感染防止策を行った上で、米軍によるブリーフィング及び当局による説明会は実施する方向で米軍と調整しているところです。

また、関係自治体等への情報提供については、引き続き、お知らせできる情報が得られれば、迅速かつ確実な情報提供に努めてまいります。

7 訓練終了後の「検証」を必ず行うこと。

《回答》

訓練終了後における訓練の状況及び騒音測定結果に係る「検証」については、これまでと同様、可能な限り対応してまいりたいと考えています。

8 これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、期限を決めて目に見える形で検証すること。

《回答》

米軍再編に係る訓練移転については、嘉手納飛行場に所在する米軍航空機について、同飛行場周辺の騒音軽減を図るため、本土の関係自治体の皆様の御理解と御協力を得て、平成19年から本土への訓練移転を開始しました。

また、平成23年からグアム等への訓練移転、平成26年6月からは三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練をそれぞれ実施しているところです。

これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において、これまで国内で59回、グアム等で54回となり、合計で113回実施しております。

これらの訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対

する騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

当局としては、今後もどのような形で関係自治体に情報提供ができるか、本省とも調整しながら検討してまいります。

9 米軍人における新型コロナウイルス感染防止対策について、来道前に全員のPCR検査を実施するとともに、本道滞在中においても不要不急の外出は控えるなど、万全を期すこと。

また、感染症に関する情報は、国の責任において、情報収集を行い、適時・適切に公表するとともに、関係自治体に情報提供を行うこと。

《回答》

防衛省としては、今回の訓練を実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大に係る防止策に関し、十分な措置を講じた上で実施することが極めて重要であると考えています。

今般の訓練に際し、米側からは具体的に以下の取り組みを実施する予定である旨、説明を受けています。

- ・ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加
- ・事前にPCR検査を実施
- ・訓練期間中は不要不急の外出は控える
- ・マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じる

また、新型コロナウイルス感染症に関連する情報については、地元保健当局への情報提供はもとより、地元自治体への情報提供についても確実行うなど、適切に対応してまいります。

●苦小牧市の個別要望

- 1 沖縄の負担軽減について、米軍外来機における飛来訓練等の抑制など、沖縄県の方々が負担軽減を実感できるように努めること。

《回答》

訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

今後とも米側に対し、飛行場周辺の騒音軽減が図られるよう、一層の協力を求めてまいるとともに、訓練移転を積み重ねるなど、可能な限り地元の負担軽減に努めていく考えです。

- 2 機体の整備、点検の強化を図るとともに、事故が発生した場合は、原因究明及び再発防止策について速やかに情報提供を行うこと。

《回答》

米軍機の飛行に際しては、安全の確保が大前提であり、引き続き米側に対し、安全面に最大限の配慮を払うとともに、地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく考えです。

なお、千歳基地での訓練移転において米軍戦闘機や輸送機の事故が発生した場合には、その原因及び今後の対応について情報が得られ次第、苦小牧市を含む関係自治体に迅速かつ確実に情報提供を行うなど、適切に対応してまいります。

- 3 米軍及び自衛隊について、PCR検査で陰性が確認された者のみが訓練に参加すること。また、訓練期間中においてもPCR検査を実施すること。
- 4 感染防止対策を徹底するとともに、訓練関係者に感染が確認された場合は、濃厚接触者の特定など必要な措置を行うこと。また、医療体制や連絡体制などについて、より具体的な情報提供を行うこと。

《回答》

③及び④については包括的に回答させていただきます。

本訓練に参加する自衛隊の部隊は、千歳基地に所在する部隊であることからPCR検査の実施は考えておりませんが、訓練前から健康観察を行い異常のない者が参加することとしています。

また、今般の訓練に際し、米側からは具体的に以下の取り組みを実施する予定である旨、説明を受けています。

- ・ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加
- ・事前にPCR検査を実施
- ・訓練期間中は不要不急の外出は控える
- ・マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じる

防衛省としては、米側に対し、訓練期間中の新型コロナウイルスの感染防止対策として、不要不急の外出を控えるほか、北海道庁が定めた新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項を米側に伝え、かかる対策を遵守し感染防止策に万全を期すよう改めて要請を行ってまいります。

また、万が一、米側に感染者が確認された場合は、可能な限り地元の医療機関にご負担をかけないように、日米双方で所要の医療・衛生体制を構築するとともに、地元保健当局とも緊密に連携し、地元保健当局の指示に従い濃厚接触者の特定などの必要な調査に協力していくなど適切に対応してまいります。

●苫小牧市の質問事項

- 1 米軍は訓練にあたり、「ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加する」とのことですが、全員が接種して来ない理由をお聞かせ願います。**

《回答》

ワクチンの接種に関することは、米軍の運用に関することであることから承知していませんが、当局としましては米軍に対し感染防止策に万全を期すよう要請してまいります。

- 2 米軍は事前にPCR検査を実施して来るとのことですが、検査はどのタイミングで実施するのか、お聞かせ願います。**

《回答》

当局としては、感染防止対策の観点から最も適切な時期を決定し、当該検査を実施すると承知しています。

- 3 米軍は訓練期間中にPCR検査を実施するのか、改めてお聞きしたいです。**

《回答》

米軍からは、現時点において訓練期間中にPCR検査を実施する予定があるとは聞いていませんが、当局としましては米軍に対し感染防止策に万全を期すよう要請してまいります。